

なのはな

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

～折り合いをつける心～

今を乗り越え未来を創る力の1つが折り合いをつける心

入園した子ども達は、いっぱい大人に愛されてあそび経験（自分自身が自己発揮出来る）を積み重ねていきます。

そうした中で子どもは、なかまが大好きになり「〇〇ぐみ」という喜びが育っていきます
この「なかまが大好き」と言う心が子どもの中に折り合いをつける力を育てていきます。

今年の「あそび虫運動会」の中で見せた5歳児の姿は、そうした力が育っていることが良く分かる姿でした。

みんなで、これもやりたい、あれもやりたいと「運動会」を楽しみに創る中、虫取りに夢中なAくん。始めは、夢中になって「運動会」をやっていたなかまもAくんがいない事にきずき話し合いがはじまりました。

「みんなで一緒にやりたい心」と「今はやりたくない。後でやる」心のぶつかり合いです。
そんな中でなかまは、A君が竹馬を乗れないことを気にしている心や虫取りをしたい心を知り、
Aくんは、たいようぐみのなかまである喜びをもう1度知る機会となりました。
そして、みんなで、虫取りをする時間と「運動会」を分ければ良いと決めたのです。
その後、Aくんは、教えてもらい竹馬遊びの楽しさも分かり「運動会」を楽しみながら、虫取りも楽しんでいる姿が見られるようになりました。

折り合いをつけるには、自己コントロール力の育ちが大切です。それも人から言われるのではなく自分で律する自律的コントロールです。

それには、大好きな人（大人やなかま）の存在が大切です。

今日も、泣きたくなる気持ちや、叩きたくなる気持ちや、怒りたくなる気持ち、やりたくない子ども心に付き合っ
て楽しい遊びを創っていきたいと思う秋深まるこのごろです。

おか

あおぞらだより

相変わらず異常気象と思えるような気温の日が続き、うわさ通り秋は来ないのかと思っていたら10月に入りちょっぴり遅めだけれど、あちらこちらにススキが見え金木犀も先コオロギ・スズムシも鳴き始めました。

園の子ども達は、散歩から帰ってくると、手に手にじゅず玉、どんぐり、彼岸花と秋を見つけて帰ってきます。【秋は来ない】と言う大人達の言葉に反して【秋はここだよ】と子ども達は、教えてくれているようです。

秋と言えば、あおぞらでは、「あそび虫運動会」が開かれます。今年もたいようさんが竹馬で園庭中を駆け回っています。

先日、たいようさんが、山に見立てた板で、斜面を作り、竹馬で上り下りに挑戦していた所を数人のにじぐみさん {3歳児} がベンチに座って応援し始めました。そんな数人の子ども達の拍手や歓声にだんだん応援する子ども達が増えいつのまにやら全部の園児が集まってきて、11人のたいようさんに注目して応援し始めました。

見上げるような高～い竹馬で歩きたいようさん

あともう少し！という所で転んでもう1回やり直したいようさん

みごと山を越えられた時には、にじやそら {4歳児} の子ども達から大きな大きな拍手！

たいようさんに送る小さい子の真剣な目は、まさしく【憧れ】でした。

子どもの発達の源は、「あこがれ」です。

小さな秋を見つけるのもじょうずな子ども達は、大好きなたいようさんの姿から【素敵】【かっこいい】
【すごい】【上手】をもらい心を躍動させ、また豊かなあそびが広がっていくのですね。

さて、大人達は、今回の「あそび虫運動会」を通して子ども達のどんな姿を見つける事が出来るでしょうか。子どもに見習って、たくさんの発見をしたいですね。

ゆうこ

まほろばの部屋から

「ことばのちから」

ことばが気になるとき。

ことばの出始め。早い？遅い？

いろんなことが言える。 あいさつのことば・数字・・・

もちろん、たいせつなこと。

ことばのもっているちからはそれだけではありません。

たとえば・・・

お母さんに怒られたとき、壁に向かって「オトウサン、カエツケルカラネ」と繰り返す姿がありました。

そうやって、自分が怒られた気持ちを整理しようとしているのです。

小さいときは抱っこしたり、泣いたりして自分ではない人と気持ちを整理していたのが、ことばのちからで自分で整理できるようになるのです。

あきこ

わとと・あおぞら

わととは、月に1回幼稚園バスに乗り親子で公園や季節のあそびを楽しめる場所へ出かけています。

10月はさつまいもほりに。

葉っぱやつるを引っ張ればお芋はでてくるのかな？

つるから切れて掘らないと出てこないのもあるね。

強く抜くとおいもは、折れてしまうのだね・・・などイメージしていたおいもほりとのギャップにとまどったり、バッタやかまきりの登場に驚いたり喜んだりと体験したからこそその発見がいっぱいでした。

11月15日には【遊木の森】へ遠足に行く予定です。

秋も深まる中、一緒にお出かけしましょう。！！

かよみ

友達と見る絵本



うしろにいるのはだあれ / まついのりこ 童心社

大きな木 はっぱ うばぐるま うえきばち くさむら うしろにかうれているのはだあれ??

ちょっと見えてるお耳やお花に 「とり」 「うさぎ」 「へび」 と
なにかな～?といろいろ考えてくちぐちにいます。

正解するとにこにこ嬉しそう。

にじぐみさん(3歳児)で読んだときは、この本をきっかけで、その虫や動物になって、ニョロニョロ ピョピョ となりきって、お話ししたりご飯を食べさせあったりしてなりきって楽しんでいます。

この本の一番最後のページは、にっこりほほ笑むおひさま・

「おひさまわらってるよ～」 「にじさんのことみてるよ～」 と、最後までほんわか気分になて絵本です。 (あや)

NPO法人なのはな (あおぞらキンダーガーデン・わととあおぞら・まほろば) 講演会

■ 日程 平成23年2月19日(土曜日) 午後

子どもの発達に共感する時

～支援や実践を考える視点～

講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授

木下 孝司 先生

■ 会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 大会議室